

令和6年度 総社市つどいの広場事業（山手会場）業務委託 事業報告

1. 子育て親子の交流と場の提供と交流の促進

山手保健センターつどいのひろば

スタッフの人数

保育士4名 保健師2名 助産師2名 社会福祉士1名 小学校教諭1名

①つどいの広場 ちびっこひろばの開催

開設日数 月曜日～金曜日の週5日 開設時間 9:30～16:00

年間開所日数 234 日 月平均 19.5 日

年間登録組数 492 組 年間登録者数（実） 665 名

年間利用者数（延べ） 8,750 名

年間利用組数（延べ） 5,778 組（午前3,024 組 午後2,754 組）

2. 子育てに関する相談、援助の実施

保健師相談日 1年 122 日

助産師相談日 1年 50 日

にこにこ訪問（年 1 件） スマイル訪問（年 0 件 延 回）

託児支援（年31 組 54 人）

3. 子育て及び子育て支援に関する講習会の実施

①赤ちゃんタイムの開催（毎月第4木曜日） 年間参加組数 157 組（12回分）

②プレママタイムの開催（毎月第2火曜日） 年間参加組数 53 組（12回分）

③親子体操（年 4回） 年間参加組数 42 組（年4回）

④性教育講座（年 4回） 年間参加組数 36 組（4 回分）

⑤ママ・パパ先生による講習会（年 20回 延 295組） エンパワメント事業

⑥食育プログラム（年 20回 延 260 組） 毎月ポスターの掲示

⑦親育ち講座

・赤ちゃんサロン（年 1回 延 7名）・子育て座談会（年 15回 延160 組）

・親育ち応援学習プログラム（年 3回 延23 名）・子育て講習会（年 10回 延146 組）

・プレ幼稚園（全4回 延べ27組）

⑧市との連携

・市栄養士による栄養指導内容についての助言指導（随時）講座（1回）食育会議（2回）

・市の保健師に気になる子について相談（随時）カンガルー広場（月1回）つどいらっこオープン（2回）

・チュッピーこどもまつり ・幼稚園・保育園説明会（1回）

4. 地域子育て力を高める取り組み

①外あそびの日の開催（毎月2－3回不定期） 年間参加組数 348 組

（地域の主要公園への出張ひろば）

②愛育委員会との連携（赤ちゃんタイムにて）

③栄養委員会との協働（年 2回）

④山手支援センターとの協働（年 3回）

⑤親子クラブとの連携 運営のための相談（たんぽぽ・常盤親子クラブ）

行事の協働（たんぽぽクラブ年 2回）入会用紙の設置

⑥お話ボランティア（年 12回） 年間参加組数 延 154組（利用者さんや地域の方）

⑦地域施設との協働 ・歯科衛生士（山手グリーン歯科）さんによる歯のお話（1回）

・お魚屋さん（平商店）がやってくる

・地域づくり協議会（健康福祉フェア）出張ひろばとして参加

⑧祖父母利用者数（延56 名）

5. 特別支援対応加算事業

個別 すすくほっと相談 (毎週月・木曜日) 年間開催日数 87 日
 相談件数 295 件

集団 すすくほっと座談会(全4回 延べ33組) ニコニコ育児のコツ(プチペアトレ) (全3回
延べ27組)

PEC (毎月第1木曜日) 5月～3月 10 回 参加組数 延 46 組

発達支援研修 (年 1 回)

親子教室研修会 親子教室見学(早島 1名) 総社 PEC 見学受け入れ(早島 吉備中央町)

6. 利用者のエンパワメント

- ・読み聞かせ
- ・広場内図書(雪舟文庫)のママボラ管理
- ・ママ先生による講習会
コサージュ、絵本の読み聞かせ、ママコンサート、手作りおもちゃ、工作 ダンス等

7. 子育て支援団体等との連携・協働事業

- ・なかよし広場こっこ・ぴよこっこ・チュッピーひろばとの連携
- ・県大子育てカレッジ実行委員会参加 ・岡山子育てネットワーク
- ・おかやま地域子育て支援拠点ネットワーク ・NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
- ・愛育委員会 ・栄養委員会 ・山手福祉センター ・山手ふれあいセンター
- ・地域子育てボランティア育成(ちびボラの育成)
- ・山手健康福祉フェア参加 出張ひろば

8. 研修会への積極的な参加 (年 24 講座 延 66 名参加)

- ・子育てひろば全国連絡協議会 全国大会(4 名)
- ・子育てひろば全国連絡協議会 初任者研修会(オンライン) (1 名)

【よかったこと】

- ・たくさんの力ある利用者の方々に支えられ、例年になく、育休中のパパを中心とした企画や、ママを中心とした新企画を行う事が出来、楽しく利用者の方々がエンパワメントされたように感じている。
- ・SNS を活用して『ひろば』を発信していくことで、『SNS を見てきた』と言われる利用者も増加する傾向が見られ、配信の範囲が拡大されたようだ。
- ・外遊びでは、近隣の公園を紹介することで、初めて行く場所など、情報を提供する事が出来、気軽に外遊びが出来る環境を少しずつだが構築できたように感じている。

【改善点と今後の課題】

- ・毎日開館から閉館まで来所される『常連』と言われる方々と、勇気を出して来所された『初めての方』や、『久しぶり』に利用くださる方との狭間で、どちらにとっても『居心地のいい場所』としてあり続けたいと日々、双方に対し、配慮を行っているが、『居づらさ』を感じる方もおられることから、来年度は、双方の立場の理解や交流が出来る様な企画を検討し『誰もが、居心地が良い』と感じられるような居場所作りを検討していきたい。
- ・SNS をもっと活用しながら、随時、情報を発信していきたい。
- ・現在の子育て世帯が何を求めているのか、どんな『ひろば』なら行ってみたいと思うのかについて、常にアンテナを感度よく張り、スタッフ自身も時代に沿った情報を常にアップデートしていかなければいけないと感じている。その中で、日本の良き文化を伝承出来る様、心がけていかなければならないと痛感している。